



—— 東邦ガス株式会社 ——

2023年3月期

第1四半期

連結決算説明資料

2022年7月28日

目 次

1.	2023年3月期 第1四半期連結決算の概要	…	3
2.	2023年3月期 連結決算の通期見通し	…	8
<参考>	カーボンニュートラルの取り組み	…	13

本資料における業績予想及び将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

1. 2023年3月期 第1四半期連結決算の概要

(1) まとめ



- お客さま数（都市ガス・LPG・電気合計の契約件数）は、
2,887千件、対前年同期1.7%増
- 都市ガス販売量は824百万m³、対前年同期2.1%減
LPG販売量は114千トン、同2.0%減
電力販売量は449百万kWh、同14.2%増
- 売上高は1,445 億円、対前年同期40.6%増
経常利益は142億円、同91.2%増

1. 2023年3月期 第1四半期連結決算の概要

(2) お客さま数・販売量

エネルギー お客さま数		2023.3期 1Q	2022.3期 1Q	増減	増減率	摘要
	お客さま数 (千件)	2,887	2,838	+49	+ 1.7%	
	都市ガス※1	1,750	1,780	△31	△ 1.7%	競合影響など
	LPG※2	603	599	+ 4	+ 0.6%	新規開発
	電気	535	459	+76	+16.6%	新規開発
※1 小売契約件数 ※2 配送受託件数を含む						
	都市ガス 取付メーター数 (千件)	2,560	2,539	+21	+ 0.8%	
エネルギー 販売量		2023.3期 1Q	2022.3期 1Q	増減	増減率	摘要
	都市ガス (百万m ³)	824	842	△17	△ 2.1%	
	家庭用	145	154	△10	△ 6.2%	高気温影響等
	業務用等	680	687	△ 8	△ 1.1%	部品供給不足による生産減等
	LPG (千トン)	114	117	△ 2	△ 2.0%	
	電気 (百万kWh)	449	393	+56	+14.2%	
	<参考> 平均気温 (℃)	20.2	19.4	+0.8	—	対前年同月比 4月:+1.6℃、 5月:±0.0℃、6月:+0.9℃

1. 2023年3月期 第1四半期連結決算の概要

(3) 収支状況

単位：億円

	2023.3期 1Q	2022.3期 1Q	増減	増減率
売上高	1,445	1,027	417	40.6%
売上原価	1,007	658	349	53.0%
供給販売費 一般管理費	307	305	1	0.7%
営業利益	130	64	66	103.0%
経常利益	142	74	68	91.2%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	103	53	49	93.9%

	2023.3期 1Q	2022.3期 1Q	対前期比較
原油価格（全日本CIF）	110.8 ドル/バレル	66.9 ドル/バレル	43.9 ドル高
為替レート（TTM）	129.7 円/ドル	109.5 円/ドル	20.2 円安

1. 2023年3月期 第1四半期連結決算の概要

(4) 経常利益 増減要因 (対前年同期)

経常利益 (74億円⇒142億円) + 68億円

■ ガス販売量の影響	△ 5億円
■ スライドタイムラグの影響	△ 65億円
(2022.3期 1Q △15億円 ⇒ 2023.3期 1Q △80億円)	
■ 原材料在庫による受払差の影響	+ 25億円
■ 固定費の影響等	+ 113億円

1. 2023年3月期 第1四半期連結決算の概要

(5) 財政状況

単位：億円

	2023.3期 1Q末	2022.3期 末	増減
総資産	6,730	6,555	174
(投資有価 証券評価益)	(556)	(602)	(△46)
純資産	3,911	3,827	84
有利子負債	1,622	1,408	213
自己資本 比率	58.1%	58.4%	△0.3 ポイント
D/Eレシオ (倍)	0.41	0.37	0.04

	2023.3期 1Q実績	2022.3期 1Q実績	増減
設備投資額 (投融資含む)	183	155	28
減価償却費	88	89	△0

2. 2023年3月期 連結決算の通期見通し

(1) まとめ

- お客さま数（都市ガス・LPG・電気合計の契約件数）は、対前年2.2%増の2,937千件
- 都市ガス販売量は対前年0.4%増の3,626百万m³、LPG販売量は同0.9%減の481千トン、電力販売量は同10.9%増の2,358百万kWhの想定
- 7月以降の原油価格110ドル/バレル、為替レート135円/ドルの前提のもと、売上高は対前年32.0%増の6,800億円、経常利益は同5.0%増の230億円の計画

※原油・為替前提の見直しに伴い、売上高を上方修正。利益見通しは変更なし。

（前回公表見通し）前提：原油価格100ドル/バレル、為替レート120円/ドル、売上高：5,800億円

2. 2023年3月期 連結決算の通期見通し

(2) お客さま数・販売量 ※前回公表見通しから変更なし

エネルギー お客さま数

	2023.3期 計画	2022.3期	増減	増減率
お客さま数 (千件)	2,937	2,873	+ 63	+ 2.2%
都市ガス※1	1,757	1,756	+ 1	+ 0.1%
LPG※2	606	603	+ 2	+ 0.4%
電気	574	514	+ 60	+ 11.6%

※1 小売契約件数 ※2 配送受託件数を含む

都市ガス 取付メーター数 (千件)	2,577	2,555	+ 22	+ 0.9%
----------------------	-------	-------	------	--------

エネルギー 販売量

	2023.3期 計画	2022.3期	増減	増減率
都市ガス (百万m ³)	3,626	3,613	+ 14	+ 0.4%
家庭用	627	640	△ 13	△ 2.0%
業務用等	2,999	2,973	+ 27	+ 0.9%
LPG (千トン)	481	486	△ 5	△ 0.9%
電気 (百万kWh)	2,358	2,126	+ 232	+ 10.9%

年間平均気温：2023.3期 計画16.5℃ (2022.3期 実績：16.4℃)

2. 2023年3月期 連結決算の通期見通し

(3) 収支状況等 ※原油・為替前提の見直しに伴い、売上高を上方修正

単位：億円

	2023.3期 見通し	2022.3期 実績	増減	増減率	備考
売上高	6,800	5,153	1,646	32.0%	前回公表見通し 5,800億円
営業利益	190	178	11	6.4%	前回公表見通しから変更なし
経常利益	230	219	10	5.0%	〃
親会社株主に 帰属する当期純利益	160	154	5	3.5%	〃
設備投資額 (投融資含む)	714	603	110	18.3%	〃
減価償却費	368	365	3	1.0%	〃

【前提】

(単位：ドル/バレル、円/ドル)

	2023.3期	2022.3期	増減	備考
原油価格	110.2	77.2	+33.0	7月以降：110ドル/バレル
為替レート	133.7	112.4	+21.3	7月以降：135円/ドル

【感応度(年間)】

	ガス粗利
原油価格+1ドル/バレル	△2億円
為替レート +1円/ドル	△4億円

2. 2023年3月期 連結決算の通期見通し

(4) 経常利益 増減要因 (対前年)

経常利益 (219億円⇒230億円) + 10億円

■ ガス販売量の影響 + 5億円

■ スライドタイムラグの影響 + 155億円

(2022.3期 △350億円 ⇒ 2023.3期 △195億円)

■ 原材料在庫による受払差の影響 △ 50億円

■ 固定費の影響等 △ 100億円

2. 2023年3月期 連結決算の通期見通し

(5) 経常利益 増減要因（対前回公表計画）

経常利益（230億円⇒230億円） ±0億円

■ ガス販売量の影響 ± 0億円

■ スライドタイムラグの影響 △ 190億円

（前回公表計画 △5億円 ⇒ 今回公表計画 △195億円）

■ 原材料在庫による受払差の影響 + 60億円

■ 固定費の影響等 + 130億円

<参考> カーボンニュートラルの取り組み

東邦ガスグループ 2050年カーボンニュートラルへの挑戦（2021年7月公表）



<参考> カーボンニュートラルの取り組み（プレスリリースより抜粋）

企業 パートナー	5/9	AIでCO ₂ やコストを削減する「AI地域冷暖房（通称 AIちれい）」を開発 2022年5月、名古屋市内における実証実験開始
	6/13	カーボンニュートラル実現に向けた豊田通商・トタルエナジーズとの協業について （水素・合成メタンなどのバリューチェーン構築）
（関係省庁等）	4/26	スマートタウン「みなとアクルス」が環境省の「脱炭素先行地域」に選定
	5/13	LNG未利用冷熱を活用したCO ₂ 分離回収技術開発・実証がNEDO「グリーンイノベーション基金事業」に採択
	6/10	大型ガスコージェネレーションの水素レトロフィットモデル普及課題調査がNEDO「水素社会構築技術開発事業／地域水素利活用技術開発」に採択
エネルギー業界	4/12	家庭用燃料電池「エネファーム」累計販売台数3万台を達成
	4/18	「八代バイオマス発電所」の工事着工
	5/10	青森県沖日本海（南側）の洋上風力発電事業開発に向けたコンソーシアムを設立 （ヴィーナ・エナジー、四国電力、東邦ガス）
	5/13	工場排ガス等を対象としたCO ₂ 分離回収技術の確立に向けた実証実験を開始
	5/20	知多緑浜工場に水素製造プラントを建設（カーボンニュートラルに資する水素サプライチェーン構築）
	6/1	国内最大級112,000kWの木質バイオマス専焼発電所「田原バイオマス発電所」の工事着工
自治体	6/6	知多市と連携した「バイオガス由来のCO ₂ を活用したメタネーション実証試験」について
	7/4	桑名市公共施設へのカーボンニュートラルな都市ガスの供給について（自治体に向けた供給は東海3県初）

※日付はプレスリリース日